

軸端に取り付け可能な多点式 テレメータ装置

Telemetry Device Attached to Shaftend

【概要】

車輪の電気信号(歪みゲージによる輪重(P)、横圧(Q)等)を得るセンサーとして、スリップリング方式が採用されていますが、高速化や試験日数の増加に伴い、摩耗や焼損等による不具合が増加しています。そこで軸端部に取り付けられ、信号伝達に摺動部を持たない多測点小型誘導電源式軸端テレメータ装置を開発しました。

【特徴】

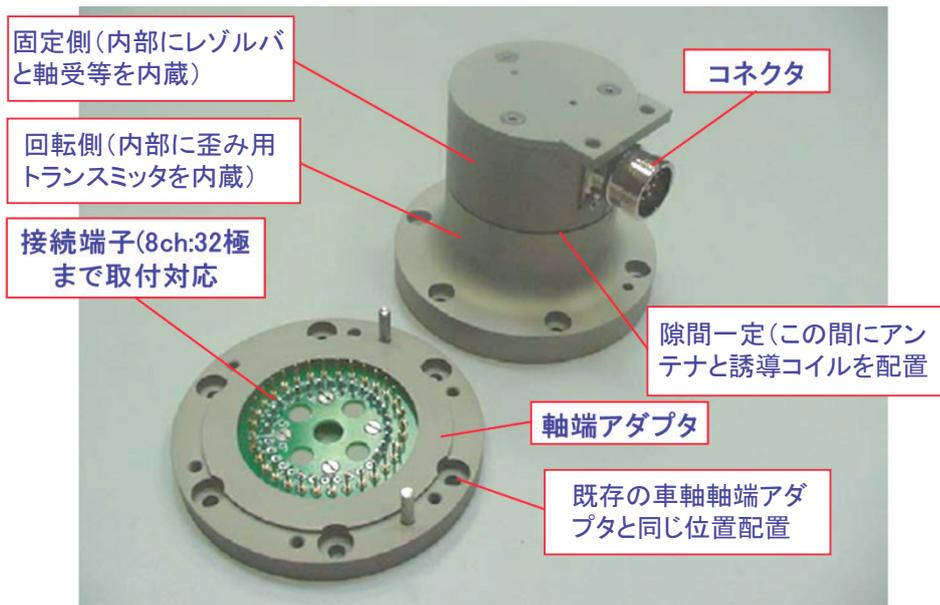
- ・省電力小型誘導電源(バッテリー不要)
- ・アンテナ一体型誘導コイル
- ・車軸軸端に取り付けられる構造
- ・8chの測定が可能なテレメータ装置



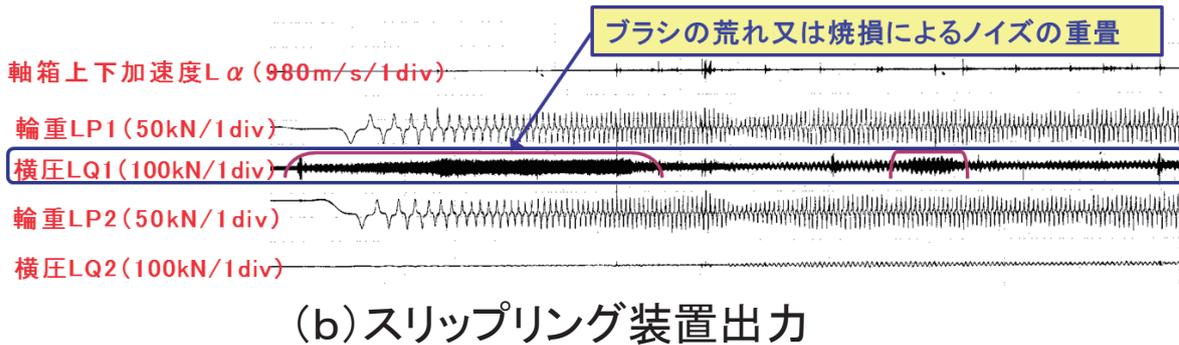
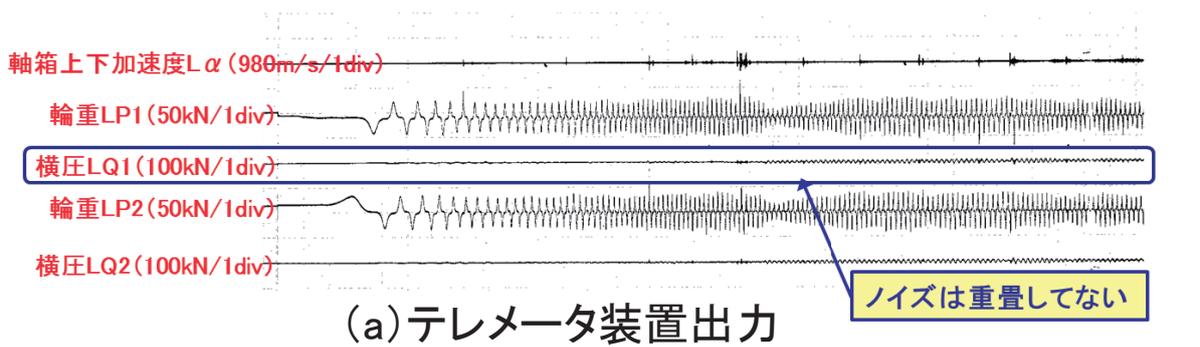
開発した8ch歪み用軸端テレメータ装置一式

【用途】

- ・新幹線のような高速車両の速度向上試験による走行安定性や新しい軌道の評価のための輪重・横圧(PQ)測定
- ・長期間に渡る走行試験(耐久試験)の輪重・横圧(PQ)測定
- ・軌道検測車用(常時測定)の輪重・横圧(PQ)測定



8ch歪み用軸端テレメータ装置



在来車による検証:輪重・横圧出力波形比較 (力行走行:速度40km/h)